

「霞が関合同庁舎3号館屋上庭園」の概要

都市におけるヒートアイランド現象の緩和、良好な自然的環境の創出のためには、既成市街地における緑化の推進が求められており、その手法の一つとして屋上緑化が注目されています。

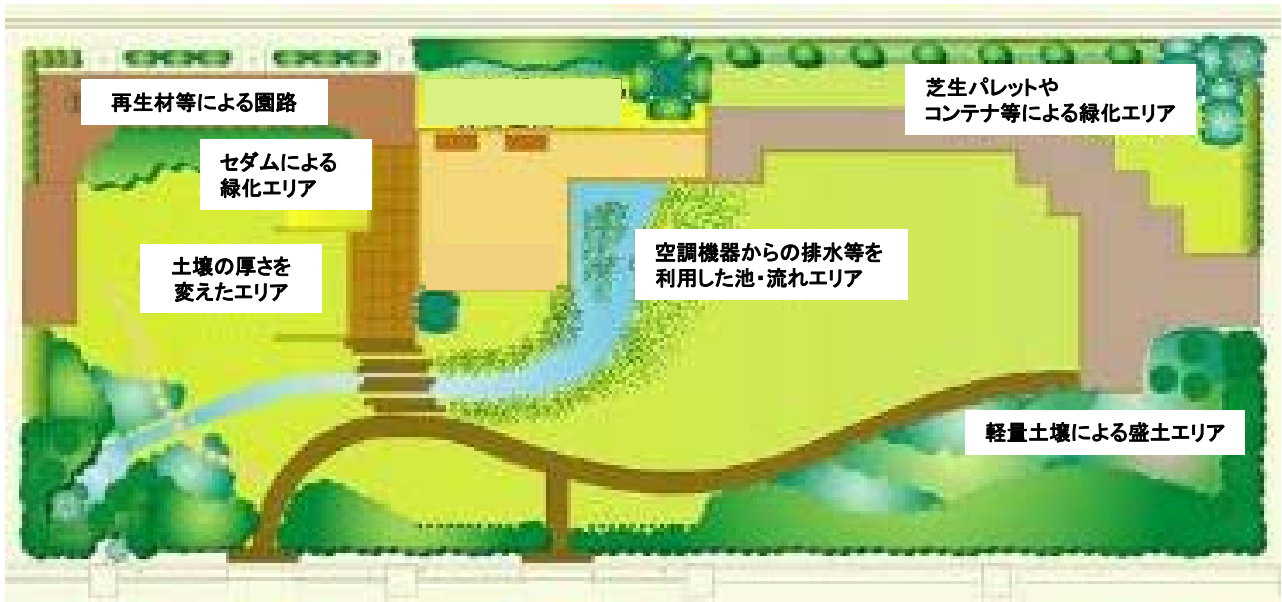
この屋上庭園は、既存の建築物の屋上を人と環境に優しい緑の空間として平成12年度に整備したものです。

面積：約1,700㎡（うち公園緑地・景観課所管分：約500㎡）

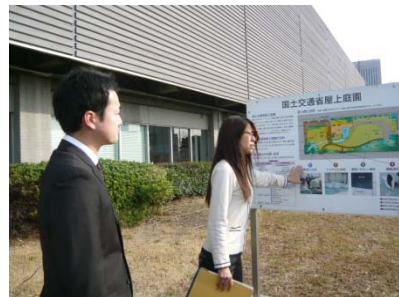
内容：

- 中高木 約 50本
（エゴノキ、ソヨゴ、ゲッケイジュ等）
- 低木 約220㎡
（ツツジ類、ボックスウッド、ローズマリー等）
- 地被類 約250㎡（セダム類等）
- 芝生類 約730㎡
- 池・流れ 約 40㎡
（空調機器からの排水や雨水を活用）
- その他園路等 約460㎡

<主要施設>



中高木から地被類まで、多様な植栽の生育状況を調査しています。



屋上庭園の特徴を解説版で紹介しています。